

【2022年度 決算の概要】

『資金収支計算書』について

単年度における資金収入は、寄付金収入、補助金収入の増加、他方、学生生徒等納付金収入、手数料収入、付随事業・収益事業収入などの収入科目は減少となっているものの予算を上回り、資金支出は人件費支出、教育研究経費支出・管理経費支出が予算を下回った結果、単年度収支は予算を大きく上回る収入超過となっている。

○資金収入

学生生徒等納付金収入のうち、入学金は「授業料等軽減補助金(入学金)」の返金により減少(但し、県費補助金増加)となったものの、授業料等の収入については予算どおりとなった。寄付金収入は創立90周年事業への寄付金を含む一般寄付金が増加となっている。手数料収入は志願者数の減少により、予算を下回る結果となっている。補助金収入は、授業料軽減補助金、施設設備費補助金、施設型給付費加算措置の増加により、国庫・県費・市費・施設型給付費すべてにおいて予算を大きく上回っている。

○資金支出

人件費支出は、超過勤務手当を含む其他手当の減少。教育研究経費支出は、予算施行時における事業内容等の精査や見直し等により減少。管理経費支出においても、予算施行時において事業内容等の見直しや創立90周年事業の縮小等により予算を下回る結果となっている。なお、施設関係支出及び設備関係支出においては、経費科目からの振替や幼稚園バス内設置カメラ(置去り防止:県費・市費補助金対象)により予算をやや上回る結果となったことから、一部予備費を使用している。

『事業活動収支計算書』について

事業活動収入計においては予算を下回ったものの、事業活動支出計においては人件費を含む経費が大きく減少したことにより、基本金組入前当年度収支差額は予算を上回る収入超過となり、また、基本金組入後の当年度収支差額はプラスに転じて収入超過となっている。

○教育活動収支

増加要因等は、上記記載の資金収支同様である。

○教育活動外収支

その他の受取利息・配当金が予算に比べ低額であったことにより予算を下回った。

○特別収支

施設設備更新に伴う除却や老朽化設備の廃棄等により、資産処分差額が増加したことにより支出超過が予算を上回った。

○基本金組入前当年度収支差額

収入の増加と支出の減少により、予算を大きく上回る収入超過となった。

○基本金組入額合計

基本金組入済の施設設備の除却や老朽化設備の廃棄等により、当該取得価額を取り崩したことにより組入額は減少した。

○当年度収支差額

上記記載により、当年度収支差額は収入超過となっている。

『貸借対照表』について

当年度末においては、資産の増加と負債の減少により純資産が増加となっている。

○資産の部

固定資産においては、新キャンパス用地造成費、高校運動場(野球場)借用地取得による土地の増加はあったものの、その他の有形固定資産は減価償却による減少となっている。また、特定資産繰入による若干の増加となっている。その他の固定資産は、高校運動場(野球場)借用地取得により設定されていた借地権を土地に振替したことや保証金回収等により減少となっている。流動資産は、現金預金・未収入金の増加に伴い大きく増加となっている。

○負債の部

固定負債は、返済計画に基づく長期借入金の返済、退職給与引当金の減少により減少。また、流動負債は

未払金の増加はあるものの、前受金・修学旅行預り金の減少により減少している。

○純資産の部

第1号基本金は、当年度取得の施設設備(現物寄付・除却を含む)及び校舎等建設費借入金返済により増加。

第2号基本金は、組入計画による増加となっている。

繰越収支差額も当年度基本金組入後の収支差額が収入超過であったことから増加となっている。これらにより、純資産の部合計は前年度より大きく増加している。